

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●踏みはずしの原因になるおそれがありますので下記事項をお守りください。

・建築基準法を必ず遵守した上で取付けてください。

踏面寸法：150mm以上

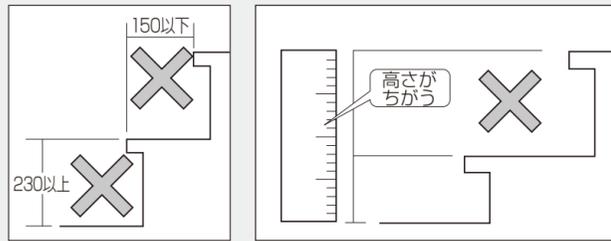
蹴上げ寸法：230mm以下

階段の幅：750mm以上

・蹴上げ高さを一定の高さにしてください。

・壁、床への取付けは、ぐらつきや脱落のないようしっかりと固定してください。

●業務用や野外に取付けしないでください。本製品は一般住宅用のため土足用として野外に設置したり、特に湿気の多い箇所に使用すると変形、破損、脱落し、ケガをするおそれがあります。



■取付け前のお願い

1 検品について

●納品時に、各部材を必ず検品してください。万一、製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(取付け完了後の色調・木理具合・キズなどによる交換はできません。)

2 取扱いについて

●運搬・加工時には、キズのつかないようにていねいにお取扱いください。又、開梱状態で直接水がかかったり、直射日光の当たる場所に置くことはお避けください。ソリ・ねじれなどの原因となります。

●水濡れ厳禁…本製品は室内用です。直接水がかかったり、極端に湿度が高い所や土足による使用はできません。

●階段部材の基材は乾燥しており、当部材にはカビ・シミはありません。運搬中・取付け中での水濡れ・洗い作業で水分を与えますと、基材のフクレやシートの浮き・シミなどの発生原因となります。万一濡れた場合は、すぐに乾いた布などでふき取り、乾燥させてから養生してください。

3 仮並べ

●集成タイプは集成材が使われており、少しずつ違った色柄が天然の木目の良さを表します。部材の取付けをはじめる前に必ず色柄を確認し、あらかじめ薄手の色から濃い色順にするなど、仮並べのうえ調整してから順に組合せてご使用ください。

4 躯体の確認

●階段取付部の柱が垂直となっているか確認してください。又、廻り側板どうしは必ず直角となるように取付けてください。

●側板・ささら桁・親柱などを受ける床下部分には、梁や大引など受け材が必要です。廻り側板や踊り場の下地にも補強材(現場手配)を入れてください。

※集成タイプの取付けについて

・無塗装品については、必ず表面と裏面も現場で塗装を行ってください。

・集成材は湿度の変化により木材特有の伸縮が発生し、取付け後にソリ、亀裂、すき間などが発生する場合があります。十分に補強を行ってください。

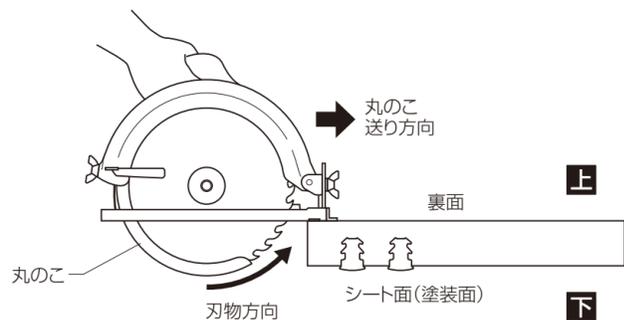
■取付け時のお願い

1 切断・加工

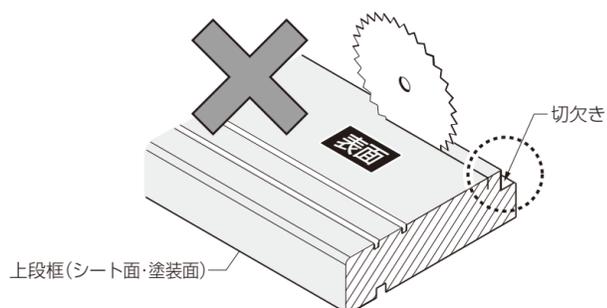
●側板へ段割にしたがって墨出しをしていきます。側板をきざみ加工及び切断する場合は、あらかじめ表面のササクレ、シートのめくれを防ぐためにカッターナイフなどでけびき処理を行ってください。

●電動カッター・丸ノコなどを使用する場合、逆目になった方にササクレが起りやすいので、刃物の進行方向にご注意ください。(下図の要領でカットしてください。)

側板への加工は、深さ10mmの大入れ加工をしてください。



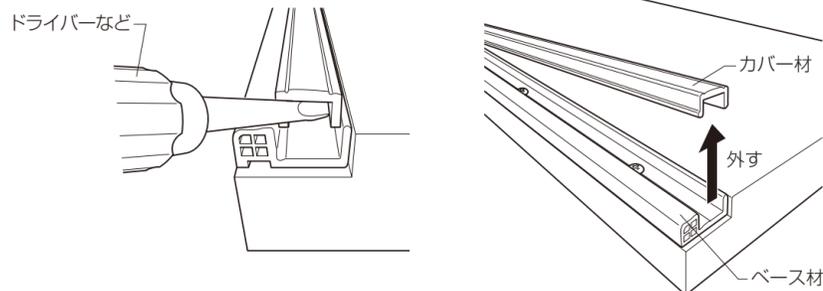
●上段框の表面には12mm厚の床材が納まるよう、あらかじめ切欠きを入れてありますので、表面に切欠きを入れないでください。表面材(シート面・塗装面)のはがれの原因となります



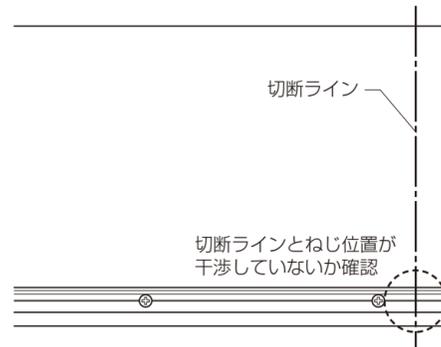
【ベーシックタイプ ソフトガード段鼻仕様踏板・廻り踏板の場合の切断方法】

段鼻ベース材は踏板にねじで固定されています。

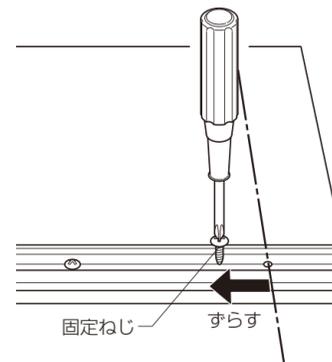
まず、ドライバーなどを使って踏板先端部のカバー材を取外してください。



切断箇所が固定ねじに干渉しないか確認した上で、切断を行ってください。

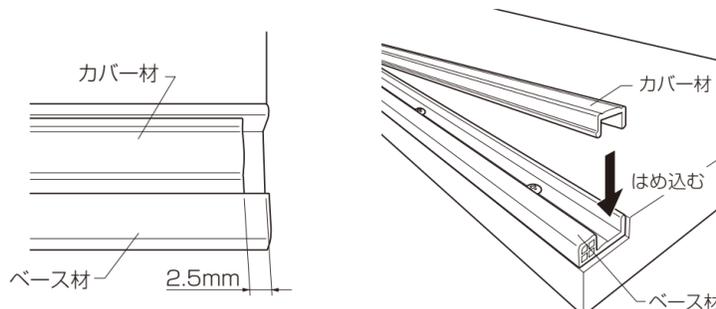


固定ねじが干渉する場合は、固定ねじを一度外して、切断箇所から内側に取付けてから、切断を行ってください。



その際、段鼻ベース材にφ4.5の下穴をあけてから固定してください。

カバー材は踏板端部より2.5mm短くなるように切断してから、ベース材にはめ込んでください。



2 取付け

●躯体(柱)との取付けに、釘・ねじなどを使用する場合は、部材の割れを防止するため、使用する金物径の5～7割のガイド穴をあけてください。

●部材どうしを接着する場合は、表面を荒らしてから接着してください。

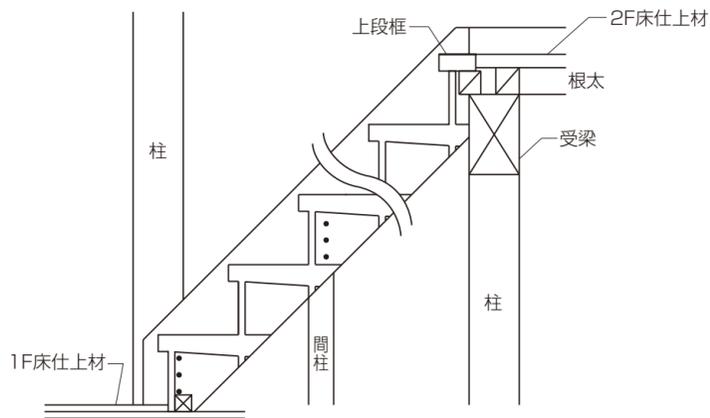
踏鳴りや、ガタツキ防止のため、接着剤は「コニシ ネダボンド アプリパック」をご使用ください。

●取付け完了後、48時間(接着剤の硬化時間による)は不要な力をかけないでください。接合部の接着不良によるガタツキや音鳴りの原因となります。

3 ボックス階段の取付け

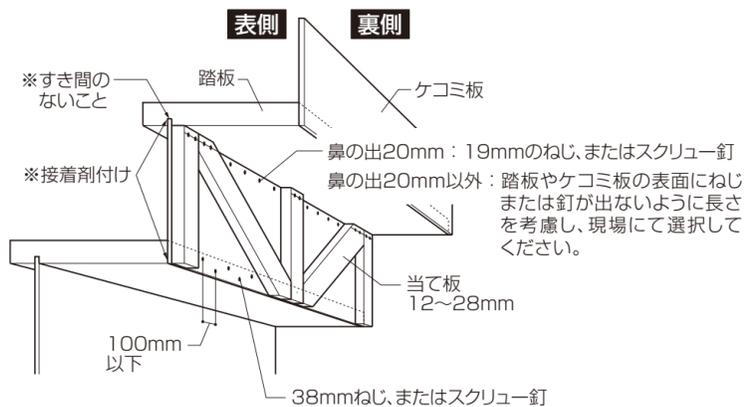
【側板・廻り側板の取付け】

- 側板・廻り側板は別紙「リビング建材 プレカット階段(イージープレカット)取付け説明書」を参照の上、切断・加工をしてください。
- 側板と柱・間柱・受梁の固定には、L=75以上のねじを3本ずつ均等間隔で固定してください。

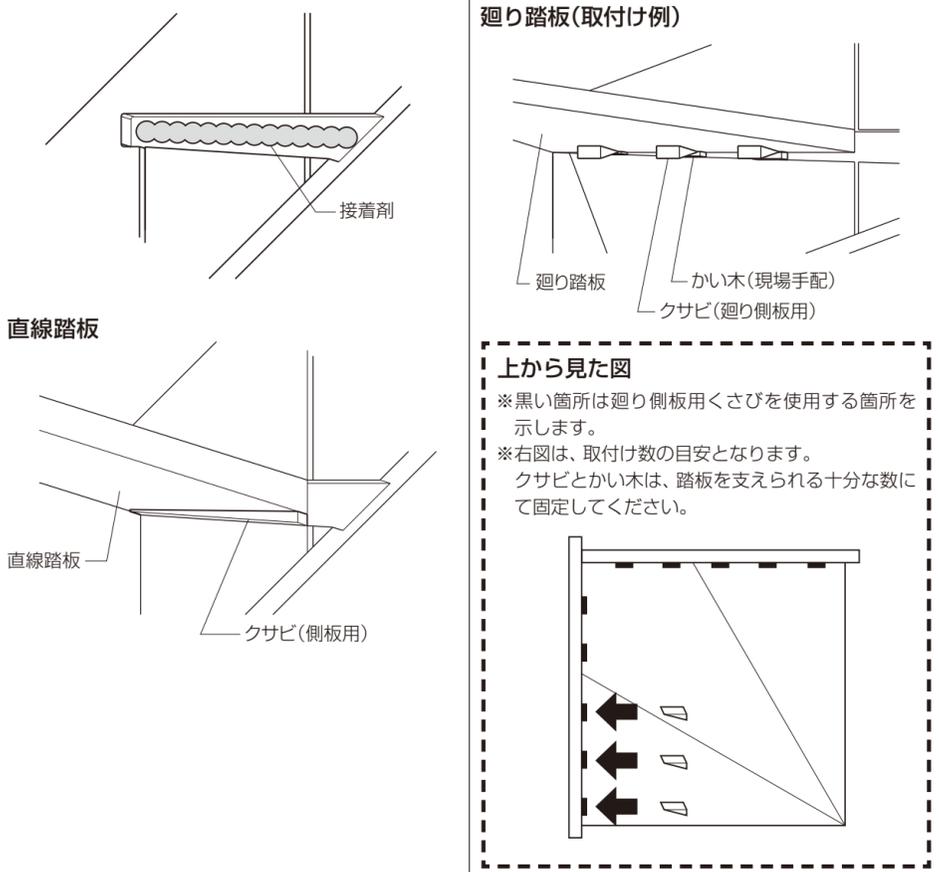


【踏板・ケコミ板の取付け】

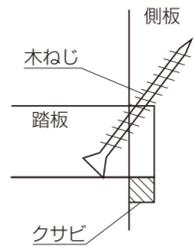
- 踏板的ケコミ溝は幅6mmとし、ケコミ板の溝に入る部分に接着剤を付けて、上端にすき間ができないように取付けてください。
踏板的奥行き寸法とプレカット加工寸法には公差があり、場合によっては、蹴込板と踏板との接合部にすき間を生じる可能性があります。目立たない部分にできるすき間であり、仕様上問題ではありません。しかし、こちらのすき間をなくしたい場合は、蹴込板を入れる前に、側板の蹴込溝を現場でノミで削って調整してください。
- ケコミ板上部とケコミ溝との固定は、ケコミ板の溝に入る部分に接着剤を塗布してから押し込み、100mm間隔にねじ、またはスクリュー釘で固定してください。ねじ、またはスクリュー釘の長さは鼻の出20mmの場合は19mmが適当です。(鼻の出20mm以外の場合は、踏板・ケコミ板の表面にねじ・釘が出ない長さを選択してください。)
- ケコミ板と踏板は2面接着剤付けして、踏鳴り防止のために、当て板または合板(現場手配)で補強・固定してください。
- ケコミ板下部と踏板的固定は、釘打ち部の表面をサンドペーパーですりおとして接着剤付けし、38mmのねじ、またはスクリュー釘で100mm間隔以下に千鳥に打ちつけてください。(並べて打つと割れが入りやすくなります。)



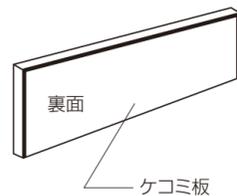
- 側板の加工部に接着剤を塗布して、踏板的を差し込み、クサビを打ち込んで取付けてください。
※クサビを打ち込む際に、クサビに接着剤を塗布して固定してください。接着固定しないと、クサビが抜け落ち、踏板的が脱落するおそれがあります。
- ※廻り踏板的の場合、側板の加工に合わせたかい木(現場手配)を接着固定した上で、かい木の隙間を埋める補助材としてクサビ(廻り側板用)をお使いください。その際、クサビはねじ、または接着剤で固定してください。



- クサビを取付けた後、L=60以上の木ねじを使用して、踏板的の裏面より側板に向かって斜めに3本固定します。
※集成タイプの場合は下穴(ねじ径の5~7割)をあけてください。



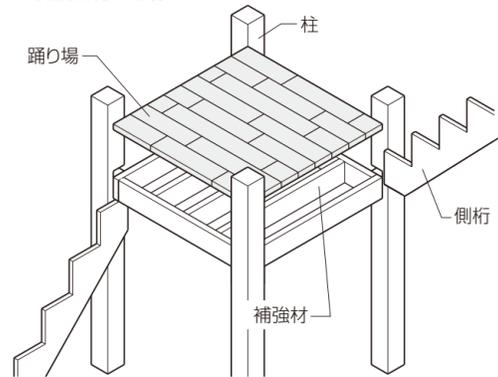
- 踏板的を仮付けしたら、水平になっているか水準器を踏板的にのせて確認します。
- ケコミ板用の溝部にケコミ板が入りにくい場合は、下図の太線部分を面取りしてください。



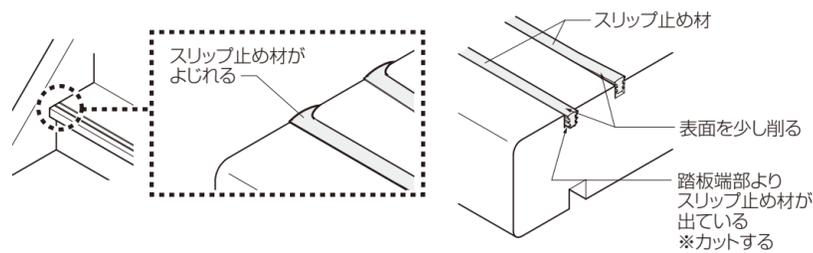
【集成タイプの場合の特記事項】

- 踊り場については、必ず60×30mm以上の下地材で裏面補強を行ってください。踏板的が割れるおそれがあります。
※補強材は、木目に直行させて取付けてください。
- ※補強材は、接着剤を塗布し、下穴をあけて踊り場にねじ固定してください。踊り場の裏面は塗装されていますので、接着する箇所は木地が出るまでサンドペーパーで研磨してから取付けてください。

(踊り場補強材の例)

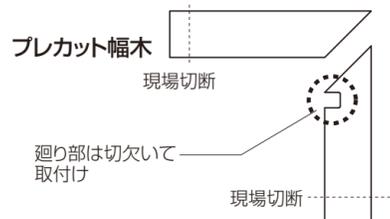


- ベーシックタイプ ソフトガード段鼻無し仕様(スリップ止め仕様)の踏板的、上段框、廻り踏板的、踊り場は、側板大入れ加工にはめ込む際に、嵌合具合によってはスリップ止め材がよじれる可能性があります。
よじれが発生した場合は一度踏板的を外し、踏板的端部から5mm程度の範囲のスリップ止め材の表面を、カッター等で少し削って取付けてください。
- ※また、スリップ止め材が踏板的端部から出ている場合は、カッター等でカットしてから取付けてください。



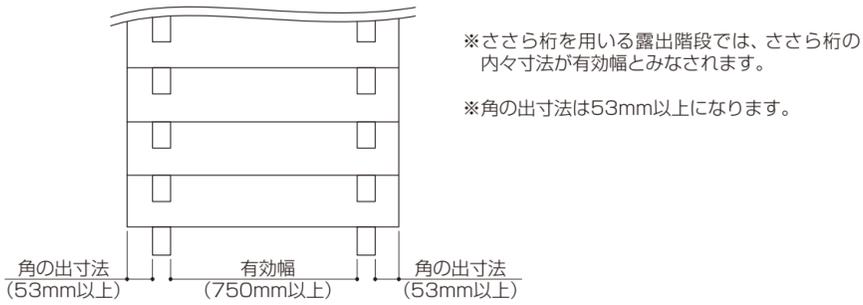
【幅木の取付け】

- 幅木の取付けは接着剤を塗布し、かくし釘で固定します。
- プレカット幅木使用の場合は、端部を必要な長さに切断してください。廻り部のプレカット幅木は、廻り角度に合わせて段鼻部を切欠きして取付けてください。

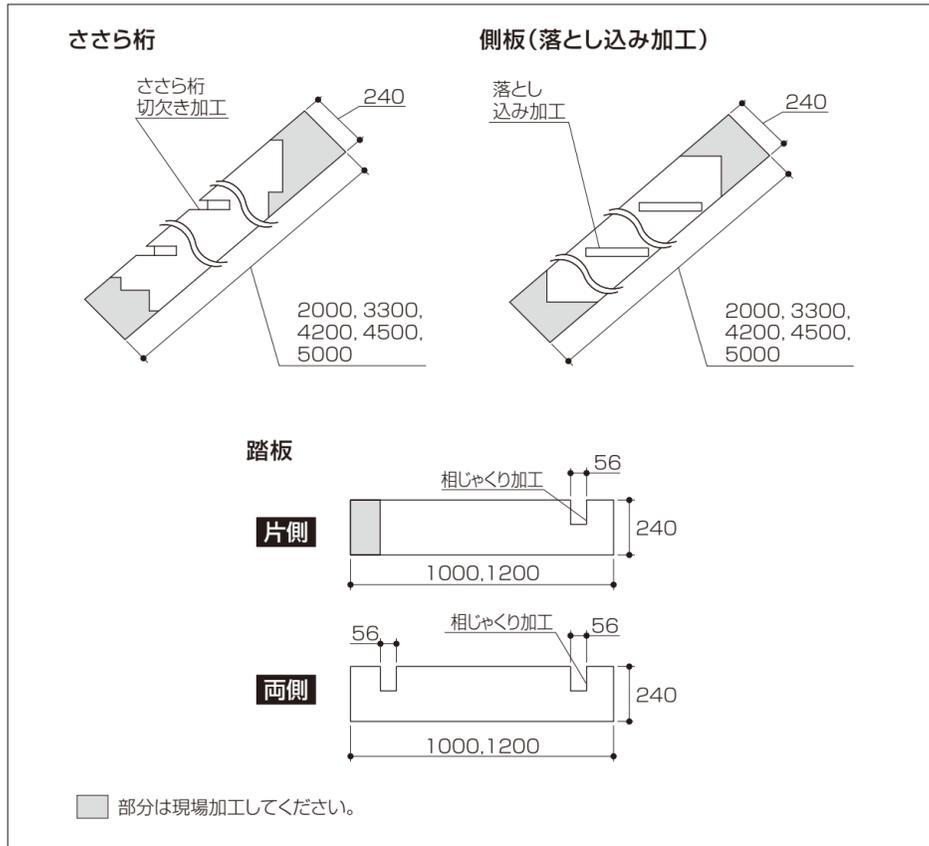


4 オープン階段(ストリップタイプ)の取付け

●有効幅

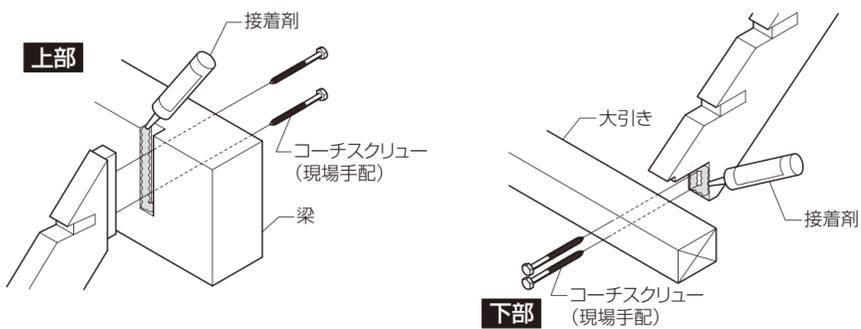


●部材の加工

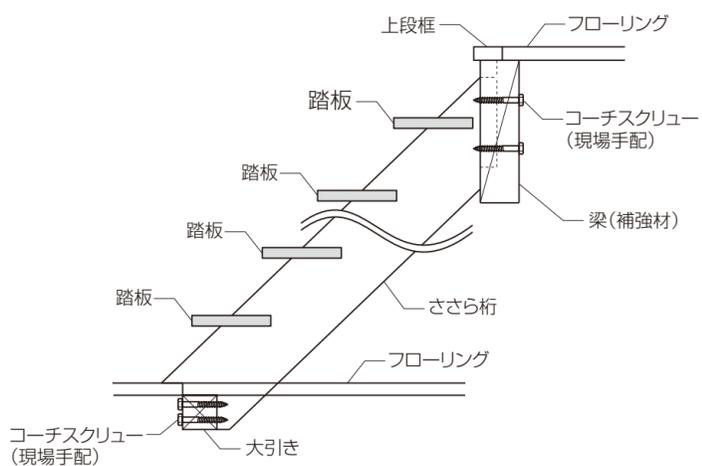


【ささら桁の取付け】

- ささら桁を梁や大引きに取付けしてください。ささら桁を取付けた後に、ささら桁をゆすり、ガタツキがないことを確認してください。
- ※ベーシックタイプささら桁には桁の内側・外側があり、内側にはラベルが張られています。ラベルを確認し、ささら桁の内側が階段の内側になるように取付けてください。



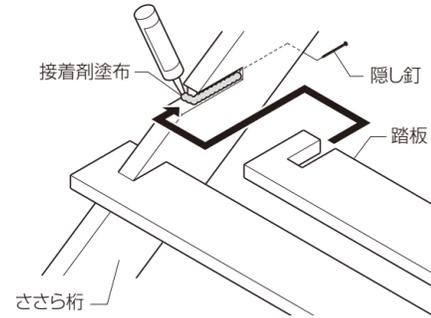
●ささら桁の納まり(例)



【踏板的取付け】

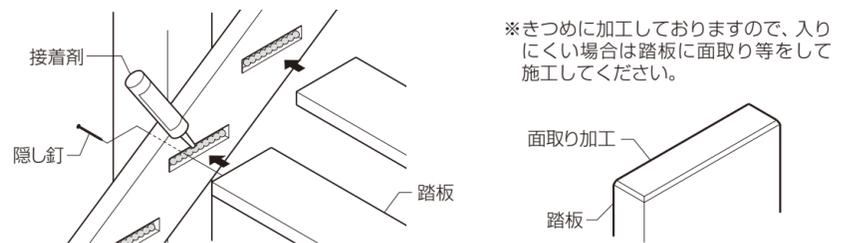
●ささら桁への踏板的取付け

- ささら桁の加工部分に接着剤(現場手配)を全面に塗布し、踏板的をささら桁にはめ込み、かくし釘で仮固定してください。ささら桁と踏板的の間にすき間がないようにはめ込んでください。接着剤は必ず塗布し、取付け完了後48時間は力をかけないでください。接着不良は、踏鳴り、ガタツキの原因となります。

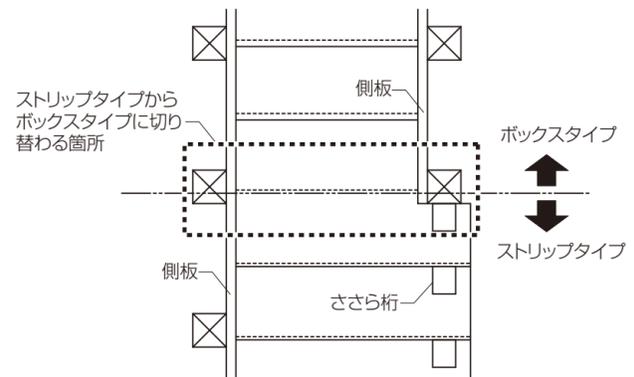


●側板(落とし込み加工)への踏板的取付け

- 側板の躯体が来る箇所を、ねじで固定します。落とし込み加工部に接着剤を塗布し、踏板的を差し込んで取付けてください。
- ※側板の落とし込み加工はR3となっています。落とし込み加工の後部のR部はノミ等で加工してから踏板的を取付けてください。
- ※踏板的が側板の落とし込み加工の奥までしっかりかかるように納めてください。
- ※接着面が密着するように、必要に応じて踏板的裏面より隠し釘にて固定してください。



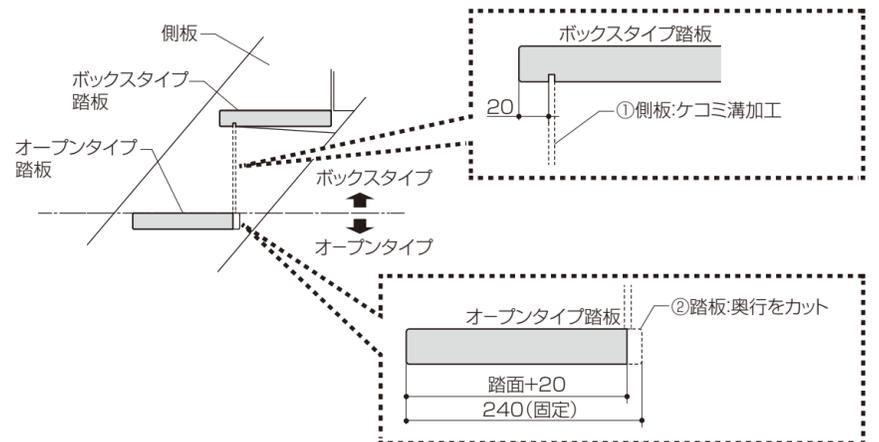
●ストリップタイプからボックスタイプに切り替わる箇所の側板・踏板的の加工について



- ストリップタイプとボックスタイプとでは鼻の出寸法が異なります。ストリップタイプからボックスタイプに切り替わる箇所については、踏面に合わせて下記の加工を行ってください。

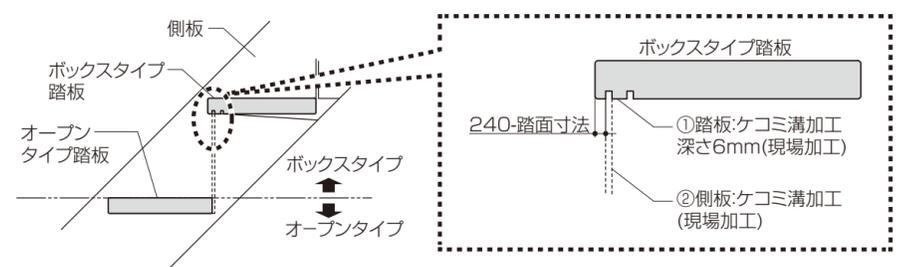
【踏面220mm未満の場合】

- ①側板の、鼻の出20mmの位置にケコミ溝加工を行ってください。
- ②オープンタイプ踏板的を、「踏面+20mm」の寸法で踏板的の奥行をカットしてください。



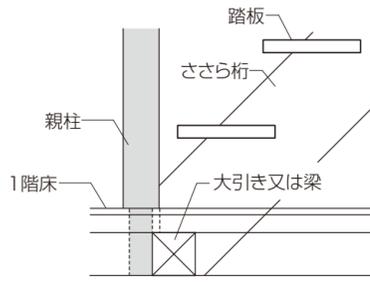
【踏面220mm以上の場合】

- ①ボックスタイプ踏板上に、鼻の出「240mm-踏面」の位置にケコミ溝加工(深さ6mm)を行ってください。
- ※必ずケコミ溝の深さは6mmとしてください。6mm以上深く加工すると、ソフトガード段鼻材のねじに干渉するおそれがあります。
- ②側板の、鼻出「240mm-踏面」の位置にケコミ溝加工を行ってください。



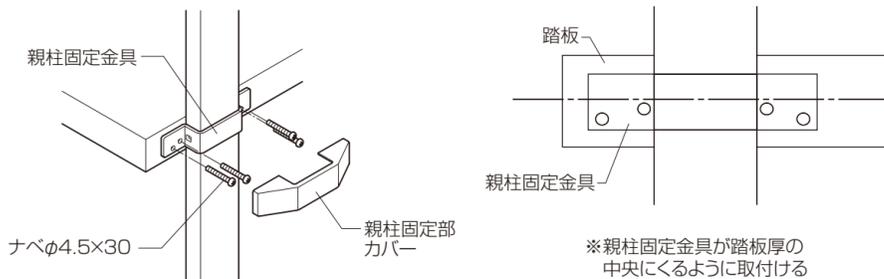
●親柱の取付け

親柱を取付ける場合は階段と同時に取付け、大引き又は梁に取付けてください。
※ソフトガード段鼻仕様踏板の場合、親柱を切欠いて取付けてください。



●オープン金属手すりの親柱の取付け

オープン金属手すりの親柱取付けでは、踏板先端木口部よりねじで固定する箇所があります。

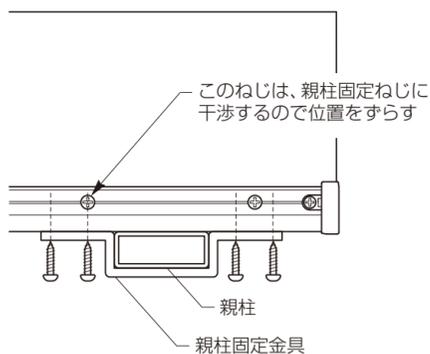


ソフトガード段鼻仕様踏板に金属手すり親柱を固定する時は、まず段鼻ベース材の固定ねじ位置を確認します。

金属手すり親柱固定ねじと段鼻ベース材固定ねじが干渉する場合、段鼻ベース材固定ねじを一度外して、ずらした位置に再度、固定してください。

その際、段鼻ベース材にφ4.5の下穴をあけてから固定してください。

(手すり取付け位置をずらしても問題がない場合には、段鼻ベース材固定ねじの位置を変更する必要はありません。)

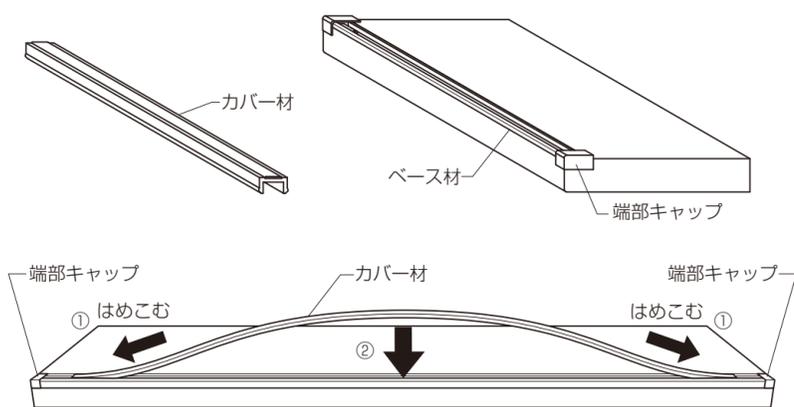


●ソフトガード段鼻カバー材の取付け

ソフトガード段鼻仕様オープン用直線踏板の段鼻ベース材、端部キャップは踏板に取付いた状態で納品されます。

段鼻カバー材は、手すり取付け後に取付けてください。

手すり取付け前にカバー材を取付けてしまうと外せませんので、ご注意ください。



(ソフトガード段鼻仕様オープン用廻り踏板は、段鼻カバー材が取付けられた状態で納品されます。踏板の内側(鋭角部)には端部キャップが付いていませんので、カバー材を外すことができます。)

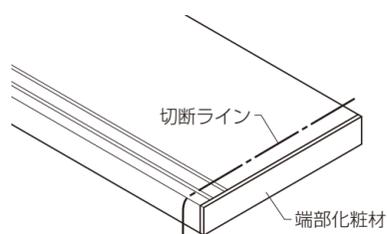
●ベーシックタイプ 片側ささら桁タイプの踏板の取付け

踏板端部に化粧材が付いています。

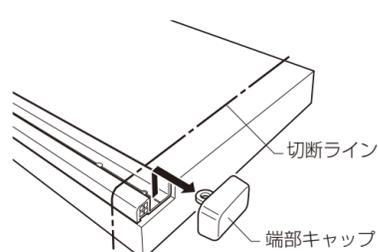
取付け前に、側板加工部に入れる方の端部を切断してください。

ソフトガード段鼻仕様踏板の場合、端部キャップのねじを外してから切断してください。

【スリッパ止め仕様の場合】



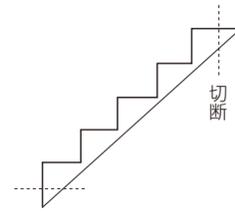
【ソフトガード段鼻仕様の場合】



5 オープン階段(ヒナ段タイプ)の取付け

●受け材の加工・取付け

ケコミ板前面より6mm後ろに下がった位置が受け材前面、踏板仕上げ面より36mmまたは30mm下がった位置が受け材上面です。納まりに応じて端部を加工し、取付けてください。取付けの際には、踏板を仮のせし、水準器で確認しながら行ってください。



●踏板・ケコミ板の取付け

※踏板にケコミ溝突止め加工している場合は突止め部を直角に加工してから取付けを行ってください。

踏板およびケコミ板の取付け面に接着剤を塗布してください。

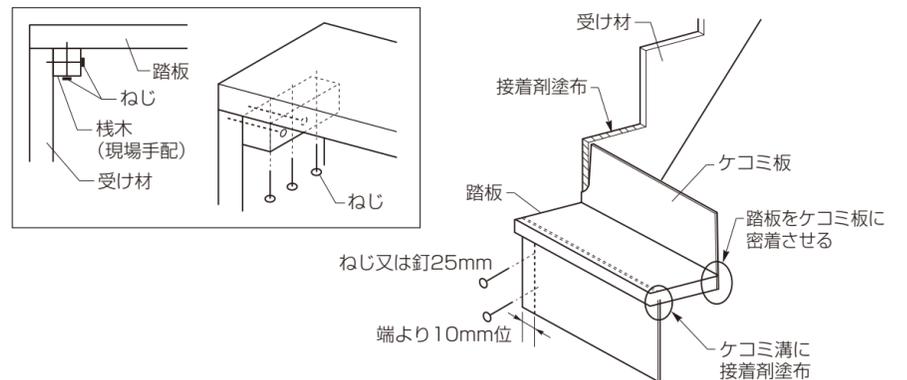
1段目および2段目のケコミ板を長さ25mm程度のねじ、または釘で固定します。

踏板的ケコミ溝に接着剤を塗布した後、ケコミ板を入れながら受け材の上ののせます。

受け材に栈木(現場手配)を取付け、栈木をかいして踏板を裏面からねじ固定してください。

同様の作業を順次行って全ての踏板を取付けてください。

ケコミ板裏面の補強は、ボックス階段と同様に取付けてください。



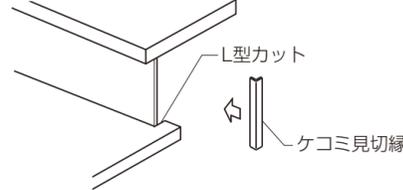
●ケコミ見切縁の取付け

※踏板にL型カットのプレカットを行っている場合は必ずケコミ見切縁を取付けてください。L型カットのプレカットを行わない場合はケコミ見切縁の下部は踏板厚に合わせて切欠きを行ってください。切断部は指を切らないよう面切り処理をしてください。

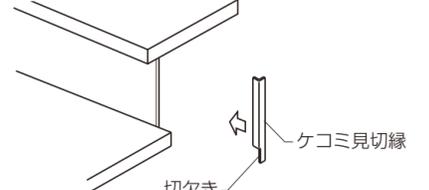
木口部が気になる場合は、単板もしくは木口シール(別手配)をご使用ください。

接着剤を塗布し、かくし釘で固定します。接着剤は「ポリネートチューブ」をご使用ください。

【L型カットする場合】

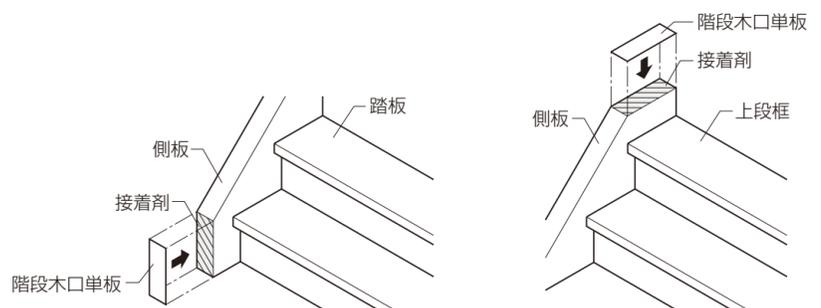


【L型カットしない場合】



6 木口単板の張り方

●側板およびささら桁には階段木口単板が同梱されていますので、側板の木口露出部分に単板を合わせてカットし、市販の速乾性接着剤で両面接着してください。



●最後に踏板にキシミ音がないか確認してください。

キシミ音が発生する場合、ねじ、釘、クサビ、接着剤不足など固定が十分でない可能性が考えられますので、再度、確認を行ってください。

■取付け後のお願い

1 養生について

●取付け後は、木屑や砂・ゴミをきれいに取除いて、養生シートおよびベニヤ又は養生カバーなどですき間なく養生してください。養生シートの固定に市販のガムテープなどを利用しますと、粘着力が強く、表面化粧および塗膜のはがれの原因になりますので、必ず当社指定(別売り)の養生テープをご使用ください。

●養生テープを張り、はがす際は表面の着色が取れたり、養生テープの糊面が残らないようゆっくりはがしてください。

なお、集成タイプの踏板や笠木の裏面には養生テープを張らないでください。着色ははがれるおそれがあります。

2 補修について

●下記の補修材を有償部品にてご用意しています。

◎リビング建材補修キット ◎補修液 ◎補修用ウッドパテ詳細はカタログでご確認ください。

3 ワックスについて

●階段にはワックスを使用しないでください。